

誓いのことば

本日は、20歳を迎えました私たちに、このような盛大な式を開催していただき、誠にありがとうございます。

また、主催者として激励のお言葉をいただきました教育委員の木口様をはじめ、御臨席賜りました来賓の皆様、開催に当たり御尽力いただきました方々に、心より感謝申し上げます。

はじめに、1月1日に発生した能登半島地震により亡くなられた方々にお悔やみを申し上げるとともに、被災された全ての方々にお見舞いを申し上げます。

また、懸命の救援救助活動に当たられている皆様へ感謝と敬意を表し、一日も早い復旧・復興を衷心(ちゅうしん)よりお祈り申し上げます。

この度の震災により、当たり前の日常を過ごせず、大変な思いをしている人が沢山居る光景を目にして、私は、小学3年生の9月、当時通っていた小学校で火災があったことを思い出しました。

幸い亡くなった方はいませんでした。使っていた教室、図書館、そして教科書や運動着など様々なものが失われました。その時、近隣校から本や学校備品など寄付をして頂き、また地域のみなさまをはじめ多くの方々から応援メッセージを頂きました。そのおかげで、当たり前の学校生活を取り戻すことが出来たと同時に、周りに支えてくれる人がいる事がありがたみを知り、心強く、嬉しく思ったことを覚えています。

ひとりの力では立ち直れないようなことも、周りの方の支えによって元気づけられ、前を向いていくことが出来るのではないのでしょうか。

私たちは、この先、生きていく中で、上手くいかず挫折そうになってしまう時があるかもしれない。その時は、上田で育った頃に得た経験を糧にし、周りの方とお互いに支え合いながら、一歩ずつ進んでいきたいと思えます。

最後になりますが、私たちを大切に育ててくれた家族、教え、導いてくださった先生方、いつも温かい声掛けをしてくださった地域の皆様、そして一緒に笑い合い、ときに小さな悩みを聞いてくれた友人たち、すべての皆様へ心から感謝申し上げます。

そして、今度は自分たちが誰かの力になれるよう、それぞれの夢や目標に向かって励んでいくことを約束し、誓いの言葉とさせていただきます。

令和6年1月7日

上田創造館会場

(第四・第六中学校区域)

成人代表 高田綾乃